



TITLE:

經濟雜話第三

AUTHOR(S):

田島, 錦治

CITATION:

田島, 錦治. 經濟雜話第三. 經濟論叢 1916, 2(6): 1101-1103

ISSUE DATE:

1916-06

URL:

<https://doi.org/10.14989/127026>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第六號

第二卷

論說

●戰後ノ關稅團體ノ計畫

●生死減少逆行ノ法則

研究

●植民政策上ノ根本問題

●本多利明ノ經濟說(三)完

雜錄

●不換紙幣流通ノ根據ニ就テ

●在外正貨ノ處分ニ就テ

●數トリ切手貼用法

●全米貨幣統一案

●獨逸^{ニ於ケル}工場衛生問題ノ研究

●經濟雜誌(三)

●再ビ本多利明ノ著書ニ就テ

●歐洲戰爭ノ經濟的說明

●戰時戰後ノ佛國物價

●香港政廳卜對獨貿易

法學博士 戸田 海市

講 師 高田 保馬

法學博士 神戶 正雄

講 師 本庄榮治郎

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戶 正雄

教 授 財部 靜治

助教授 河田 嗣郎

助教授 山本美越乃

法學博士 田島 錦治

講 師 本庄榮治郎

法學博士 河 上 肇

法學博士 小川郷太郎

法學博士 佐藤升次郎

經濟雜話第三

法學博士 田島錦治

(六) 日本ニモ馬アリヤ

回顧スルハ最早十九年ノ昔トナリス余ガ伯林ニ
留學セル時一夕余ガ宿ノ主人ノ案内ニテ伯林街
上ヲ散歩セルコトアリ當時ハ未タ自動車ヲ見ス
又電氣鐵道モ尙ホ普ネカラスシテ街上ニハ馬車
鐵道、乗合馬車、荷馬車及ヒ普通ノ賃馬車ノ往
復絡繹トシテ織ルカ如ク且道路モあすばると道
若クハ木道ハ伯林目貫ノ小部分ニ限ラレ多クハ
石ヲ敷ケルヲ以テ車輪ノ軋ル軋々ノ音ハ暮シ
クシテ殆ント耳ヲ聳セントシ十七八歳トモ見ユ
ル青年ノ多數並ニ大人ヲ混ヘタル掃除人夫ハむ
むヲ種エタル長キ丁字形ノ箒ヲ手ニシテ絶エス
街路ノ馬糞及ヒ塵埃ヲ掃除シツツアリタリ嗚呼
此千八百九十七年ノ當時ニ於テ伯林ハ既ニ世界
ノ最モ清潔ナル都市ノ一二數ヘラレタリシナリ

余ハ宿ノ主人ヲ顧ミテ伯林市ニ於ケル馬匹ノ夥シキ事及ヒ市街掃除ノ容易ナラサル旨ヲ話シタルニ彼ハ卒然トシテ余ニ問フラク君ヨ日本ニモ亦馬アルカト余ハ此不思議ニモ馬鹿氣タル如キ問ニ驚キ且呆レタレトモ平素主人カ親切着實ナルヲ知ルカ故ニ無下ニ駭スルコトモナサス唯獨逸程ハナケレトモ隨分少ナカラサル馬匹アリト答ヘタルニ彼ハ重ネテ然ラハ何故ニ日本ニテハ人カ車ヲ引クニヤト此問ニ對シテハ餘リ負タルコトハ嫌ナル余モ早速ノ返事モ成リ兼チ冷汗ヲ脊ヲ沾ホスヲ禁シ得サリシナリ爾後十五年ヲ經過シ余再ヒ歐米漫遊ノ途ニ上ル千九百十二年ノ春伯林ニ至リ滞在スルコト數日曩時ノ馬車鐵道ハ復見ル可カラス乗合馬車ハ乗合自動車トナリ普通ノ馬車ハ至ツテ少ナクシテ多クハ自動車トナリ街路ハ大抵あすばると道トナリ市街ノ繁華ハ曩時ニ數倍シテ而カモ其美麗清潔ナル亦層一層ヲ加ヘタリ、嗚呼西歐ノ諸都邑ニ於テハ機械力ハ既ニ馬力ニ代リタリ顧ミテ故國ヲ思ヘハ人力ハ猶ホ馬ノ如クニ働キツツアル場合多キナ

リ獨リ伯林ノ街上ニ歩シテ嗟嘆スルコト久シカリキ。

(七) 良賈ハ深ク藏シテ虛ノ若クス

一日友人岡村博士ト語ル語次老子カ孔子ノ禮ヲ問ヘルトキ答ヘル辭トシテ史記老莊申韓列傳ニ載スル所ノ良賈深藏若_レ虛、君子盛德容貌若_レ愚、ノ語ニ及フ博士慨然トシテ曰ク現世ノ商賈ハ爭フテ其ノ店舖ノ間口ヲ廣クシ看板ヲ大ニシ貨物ハ其質量ノ外觀ヲ良好且夥多ニ見ユル様ニスルヲ勉メ虛偽誇大ノ廣告ハ新聞雜誌街衢道路ニ充滿シ甚キニ至リテハ殺風景ナルべんき塗板ヲ以テ楓花ノ名所ヲ汚シ山水ノ美景ヲ妨クルモノアルニ至ル而シテ現世ノ謂ユル君子即チ學者政客モ亦之ニ似タルモノ多シト余曰ク然リ然レトモ現世豈深ク藏シテ虛ノ如クスル賈人ナカラムヤ試ミニ見ヨ今ヤ世界ノ大戰亂ハ歐洲ノ天地ヲ震撼シテ奢侈品ヲ除クノ外ノ貨物ハ概シテ甚シク騰貴シ特ニ我國ニ就テ見ルニ此等ノ交戰國特ニ獨逸ヨリ從來輸入シタル化學工業的生產品ノ如キ數倍若クハ數十倍ノ騰貴ヲ見タリ是時ニ當リ

戰前ヨリ此等ノ品ヲ多少貯蓄シ又ハ戰爭勃發後
機敏ニ各地ヨリ之ヲ買收シタル巧慧ナル商人ハ
假令年來ノ顧客カ爭フテ其店頭ニ蝟集スルモ品
切ヲ唱ヘテ以テ益々其賣價ヲ競リ上ケント勉ム
嗚呼是レ深ク藏シテ虛ノ如クスルモノニ非スヤ
ト博士阿々大笑シテ曰ク君ノ言ハ眞ナリト。